事例No.	1303
公表年度	R1
団体の属性	都道府県
団体名	鳥取県

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・移住定住 ・ICT

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

関係人口マッチング事業
（受入プログラム実施・都市部での講座開催・ウェブサイト開設）

出典

関係人口創出・拡大事業（裾野拡大型・裾野拡大（外国人）型）成果報告会

1.地域概要・地域課題・事業に取り組む背景

地域の概要

地域名：鳥取県 【八頭町・南部町】
人　口：鳥取県　554,855人
　　【八頭町　15,896人・南部町　10,434人】
　　（令和2年1月1日現在・推計人口）

- 全国の都道府県で最も人口が少ない。
- 鳥取県は、中国地方の北東部に位置し、東西約120ｋｍ、南北約20～50ｋｍと、東西にやや細長い県で、八頭町は東部、南部町は西部に位置している。
- 北は日本海に面し、山陰海岸ジオパークや鳥取砂丘、南には、中国地方の最高峰・大山など豊かな自然を有し、それら豊かな自然に育まれた鳥取和牛や松葉ガニ、二十世紀梨、砂丘らっきょうなどをはじめとした、海の幸や山の幸に恵まれている。



解決したい地域課題

- 平成19年に県の総人口が初めて60万人を切ったことから、全国に先駆けて移住定住の取組を開始し、近年、移住者数は右肩上がりで増加。しかし、現在では、本県への移住者数は横ばい傾向となっている。
- また、平成31年の人口動態では全体で1,248人の転出超過となっており、特に10代後半から20代前半の流出超過（1,136人）が顕著で、地域を支える若い担い手不足が課題となっている。

本事業に取り組むに至った背景

- 本県は、上記の課題を踏まえ、短期的な定住人口の獲得策に取り組むだけではなく、移り住むことはできなくても、本県に関心を持って多様な形で関わり応援してくれる「関係人口」の創出のきっかけとなる取組（ワーキングホリデーや都市圏で鳥取とのつながりをつくる若者交流会開催等）を始めており、地方の地域に興味・関心を持つ都市部等の在住者（以下、「都市在住者」という。）が一定層いることが見えてきた。
- また、県内では地域活性化に取り組む地域や活動団体等（以下、「県内地域・団体」という。）は、担い手不足等により多くの課題を抱えている。
- そういった背景を踏まえ、都市在住者と県内地域・団体をつなげる取組を進めることとした。

2. 事業概要

●事業概要

＜ターゲット＞
- 地域のために何かしたい・応援したいと考えている人、自分の好きなこと・挑戦したいことや自身のスキル・知見を地域づくりに結び付けたい人

＜概要＞
- 都市圏での県内地域・団体と連携して地域とつながりをつくる講座等の開催や、ウェブサイト（会員登録）により情報を発信し、コーディネート機能を整備。
- 都市圏と県内の社会人が協力し、仕事等で培った知識やスキルを活かして、八頭町と南部町の地域団体の課題解決に取り組むプログラム（とっとりプロボノ）を実施。

＜実施事項＞
- 東京と関西で各２回地域とつながる講座開催
- ウェブサイト（会員登録）を構築・運営
- とっとりプロボノ
  - ・全国日本地域仕掛け人市出展及び事業説明会開催で参加者募集（東京）
  - ・都市圏と県内の社会人でチームを構成し、5カ月間コミュニケーションツールやテレビ会議でチーム活動
  - ・都市圏の参加者は、現地ヒアリングと成果提案のため2回来県

●地域の理想の姿

- 関係人口が、多くの県内地域・団体の担い手となり定期的に地域を訪れる等で地域住民と一緒に活動し、地域に活力が生まれている。関わりを持ち続けた結果として、二拠点居住や地域に移り住む者が増えている。

●本年度の目標

- 会員登録の初年度登録者　150人
- 地域と関わる取組への参加者　50人
  うち、本事業のとっとりプロボノ　10人
  その他県内受入プログラム　40人

●理想を実現するための本年度事業の位置づけ

- コーディネート機能の整備やウェブサイトでの情報発信により、県内地域・団体と関わりを持ちたい都市在住者と県内地域・団体をつなげる仕組みを構築し、今後の関係人口の呼び込みにつなげていく。

3.事業実施体制・スケジュール

事業実施体制（受け入れ体制を含む）

- 鳥取県が事業全体管理を行い、都市在住者と県内地域・団体をつなぐための都市圏での講座開催やウェブサイト開設・運営等による、都市在住者と県内地域・団体をつなぐコーディネート機能は、県内地域・団体と都市圏にネットワークを持つNPO法人学生人材バンクに再委託し実施。
- とっとりプロボノの実施は、都市圏に拠点を持ちプロボノプログラムの運営支援等を行っているNPO法人サービスグラントに再委託し、（公財）とっとり県民活動活性化センターと連携して実施。

鳥取県（ふるさと人口政策課）［全体運営管理］

【都市圏と地域をつなぐコーディネート機能】
〔関係案内人〕NPO法人学生人材バンク（委託先）
［地域・団体等情報収集、都市圏での講座開催、ウェブサイト運営、都市在住者相談対応 等］

【とっとりプロボノ実施】
〔関係案内人〕NPO法人サービスグラント（委託先）
［基本設計企画運営、参加者募集・活動サポート］
八頭町・（一社）SNERO
南部町・NPO法人なんぶ里山ﾃﾞｻﾞｲﾝ機構
［参加者受入地域団体］
（公財）とっとり県民活動活性化センター
［受入地域団体サポート、活動サポート］

スケジュール

実施事項	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 県内受入プログラム・受入地域・団体等の情報収集・掘り起こし							業者選定・契約（プロポーザル方式）						県内地域活動団体（者）等へのヒアリング等により情報収集（別途、単県事業で、地域団体（者）を対象とした受入れプログラムづくりワークショップを11回実施）															報告書提出		
2 ウェブサイト（会員登録）開設・運営							業者選定・契約（プロポーザル方式）						ウェブサイト開設準備（上記と連動）						公開・情報発信（上記と連動）											
3 都市在住者を対象とした、参加者募集・説明会、県内地域・団体と連携した講座等開催							業者選定・契約（プロポーザル方式）												開催準備・申込受付 ★京都開催			★東京開催			開催準備・申込受付		★東京・大阪で各１回開			
4 地域課題解決人材受入プログラム（とっとりプロボノ）実施							参加者募集・申込受付・チーム編成			チーム活動（現地活動等による関係機関へのヒアリング、課題解決策の検討）																成果報告	報告書提出		

4.事業の「ターゲット」

●事業のターゲット

- 地域のために何かしたい・応援したいと考えている人、自分の好きなこと・挑戦したいことや自身のスキル・知見を地域づくりに結び付けたい人

●参加者募集のターゲットの設定経緯

- 本県では、県内の社会人等が仕事等で得たスキルや知識等を生かして地域団体の課題解決に取り組むボランティア活動（プロボノ）支援事業を実施しており、県内の受入団体や活動へのサポート体制が既にあることから、当該活動に参画してもらう都市圏在住者をターゲットに設定した。
- また、都市圏での若者交流会の実施を通じて、地域に興味・関心のある人たちが一定層いることが分かってきたことから、そういった人たちの中から、より深く県内地域に関わり応援したい人を創出していくためターゲットに設定した。

●ターゲットへの広報・アプローチ

【実施事項】

事業の広報は、下記の事項を実施した。

＜都市圏での講座の参加者募集・ウェブサイトの周知＞

- 業務委託団体のNPO法人学生人材バンクのネットワークによる広報
- 県のSNS等の情報発信ツールによる広報
- →広報課FACEBOOK・Twitter、県外本部メルマガ、ふるさと人口政策課HP　など
- 県が実施する都市圏イベント（若者交流会）での事業説明と参加者へのチラシ配布
- 都市圏で開催される鳥取関係者の集いに参加し事業説明と参加者へのチラシ配布

＜とっとりプロボノ参加者募集＞

- 業務委託団体のNPO法人サービスグラントのネットワークによる広報
- 全日本地域仕掛け人市に出展し、とっとりプロボノ事業を広報
- とっとりプロボノ事業説明会の実施

【成果・効果】

- 業務委託団体のネットワークによる広報と県SNS等の情報発信ツールによる広報が効果的であった。

5.関係人口の活動内容

●参加者（関係人口）が取り組んだ活動の内容

＜地域課題解決人材受入プログラム（とっとりプロボノ）＞

都市圏と県内のさまざまな企業等で働く者がチームを構成し、仕事等で培った知識やスキルを活かして、八頭町と南部町の地域活動団体の課題解決に5カ月間かけて取り組んだ。





受入団体	【八頭町】一般社団法人ＳＥＮＲＯ	【南部町】ＮＰＯ法人なんぶ里山デザイン機構
チーム構成	首都圏5人・県内4人　計9人	首都圏6人（途中1人減）・県内4人　計10人
活動（支援）内容	関係人口増加につながるマーケティング基礎調査	空き家オーナーに向けた貸主募集パンフレット作成と活用方法
主な活動	●9月中旬　キックオフミーティング：東京と県内の２会場を繋いでテレビ会議により実施。 以降、随時コミュニケーションツールやオンラインでチーム活動（関係者ヒアリング・ミーティング）を実施	
	●12月14日～15日　現地調査・中間提案 ・受入団体の案内により、関係施設の視察見学や関係者へのヒアリングと、受入団体に対して、中間提案（調査報告）及び受入団体や関係者との夕食交流会を実施。 ●1月11日　現地最終ワークショップ ・受入団体と地域の関係者（13名）を対象に、受入団体活動のブラッシュアップを考えるワークショップ及び昼食交流会を実施。	●11月16日～17日　現地調査 ・受入団体の案内により、南部町内の関係施設の視察見学や関係者へのヒアリング、メンバーミーティングと受入団体の夕食交流会を実施。 ●1月25日　現地・成果提案 ・受入団体に対し、活動（支援）テーマについて成果提案を行った。その後、受入団体と夕食交流会を実施。

＜都市圏での県内地域・団体と連携した講座＞

都市在住者を対象に、地域との関わりをもってもらう講座を東京と関西で、各２回開催。講座参加者は、地域で活動するゲストの活動を聴講し、ワークショップで、活動へのアイデア出し等を行った。

【参加者：東京開催　各10人、関西開催　各13人】




6.活動の成果

●本年度の目標達成状況

目　標	達成状況
会員登録の初年度登録者　150人	127人
来県し地域と関わる取組への参加者　50人	25人
うち、とっとりプロボノ　10人	10人
その他の県内各種受入プログラム　40人	15人

- ✓ ウェブサイト公開の遅れにより、サイト上で行う会員登録を増やすことが出来なかったが、並行してSNSを運用したことで、多方面に情報を伝えることができたと考える。
- ✓ また、来県し地域と関わる取組への参加者のうち、とっとりプロボノは目標を達成したが、その他の県内受入プログラムは、紹介できる県内受入プログラムがまだ少ないことや、ウェブサイト公開の遅れや都市圏での講座開催時期の問題で、情報発信ができなかったことにより、達成することが出来なかった。
- ✓ しかし、都市圏での講座において、県内地域・団体の活動の紹介や地域と関わる方法等を紹介すると、興味・関心を持つ参加者は多く、県内受入プログラムの充実と発信を継続していくことで、今後の参加者増につながるものと考える。

●関係人口の地域との関わり方

- とっとりプロボノ参加者については、各受入団体や地域に愛着を持ってもらっており、今回のプログラムにより団体へ行った提案の実現に向け、今後も活動を支援していきたいという意向である。

（参考：参加者アンケート結果）
回答者100%「鳥取県への愛着が高まった」「鳥取県をまた訪れたいと思った」「鳥取県の地域や地域の人々と関わりを持つきっかけとなった」、56%「鳥取県が第二ふるさとになった」、22%「鳥取県へ移住定住することに興味が高まった」

- 都市圏での講座の参加等をきっかけに、県内の取組に参画する者が出てきている。

●その他の成果

- 特になし

7.課題への対応

●事業で直面した課題とその対応策･解決方法

- 都市圏での県内地域･団体と連携した講座については、１回目は、県内地域･団体に関心のある参加者を集客することができなかったため、講座内容を、県内地域･団体で活動するゲストの活動を一緒に考える内容に見直したことで、地域への活動に関心の高い参加者を集客することができた。

●今後の課題と対応方針

- 都市在住者を本県に呼び込むためには、都市在住者を受け入れたい（受け入れられる）県内地域･団体がまだ少なく、関係人口の受け皿（受入プログラム）の充実が必要。今年度から県独自事業で、県内地域･団体を対象に受入プログラムづくりワークショップ等を実施しているところであるが、さらに取組に重点を置き、受け皿（受入プログラム）の充実を図っていきたい。

8.将来への展望

●来年度以降の関係人口とのかかわり方

- 本年度創出した関係人口には、来年度以降も県内受入プログラムや県内地域・団体の活動等の情報発信を行うとともに、都市圏での行う鳥取県関連イベント等の参加を促し、それぞれの関われる方法（範囲）で継続して関わっていっていただきたいと考えている。

●「関係人口」施策の展望

- 都市圏在住者や企業が地域に関わることができる受け皿（受入プログラム）や地域と関わる活動に対する支援の充実を図るとともに、県外本部（とっとり歓迎案内所ウェルカニ）と連携し、都市圏に向けた情報発信や本県と関わりたい都市在住者の掘り起こしにより、地域とのマッチングを強化し、地域と多様に関わり応援する関係人口を増やすことで、地域活性化とともに将来的な移住者の裾野の拡大を図っていく。